

別紙様式（Ⅲ） - 1

商品名：メディボーン

製造及び品質の管理に関する情報
(サプリメント形状の加工食品、その他加工食品)

| | | |
|---|--------------------------|--|
| (1) 製造者氏名、製造所所在地等 情報 | 製造者氏名又は製造所 名 | 株式会社東洋新薬 鳥栖工場 |
| | 製造所所在地 | 佐賀県鳥栖市弥生が丘 7-28 |
| | 届出者か否か | <input checked="" type="checkbox"/> 届出者 <input type="checkbox"/> 届出者以外 |
| | 製造所固有記号で表示 される場合はその記号 | T11 (2016. 2. 17 追加) |
| (2) 製造施設・従業員の衛生管理等の体制 (以下の項目をチェック又は記載。重複可) | | |
| ① GMP、HACCP、ISO 22000、FSSC 22000 に基づき、届出食品が製造されてい るか。 <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | 種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 国内GMP <input checked="" type="checkbox"/> 米国GMP (<input checked="" type="checkbox"/> 認証を受けている) <input type="checkbox"/> 総合衛生管理製造過程 <input type="checkbox"/> 都道府県等 HACCP <input checked="" type="checkbox"/> ISO 22000 <input type="checkbox"/> FSSC 22000 |
| | 承認書等発行者 | ・国内 GMP：公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 ・米国 GMP：NSF International ・ISO 22000：ペリージョンソ ンホールディング株式会社 ペリージョンソン レジス トラー |
| | 承認書等番号 | ・国内 GMP：211-B01-01 ・米国 GMP： C0095802-05 C0095802-06(2016.2.17 更新) ・ISO 22000：C2014-00481-R1 |
| ② 国外で製造される場合において、当該外国内で販売する食品 に対し、GMP 又は HACCP の基準に従い製造することを義務付け ている場合であって、届出食品も当該基準により製造されて いるか。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | | <input type="checkbox"/> GMP <input type="checkbox"/> HACCP 国名又は地域名 |
| ③ <input type="checkbox"/> ①及び②以外の場合 製造施設・従業員の衛生管理等の体 制について具体的に右欄に記載す る。 | | |

別紙様式（Ⅲ） - 1

| | |
|--|---|
| <p><input type="checkbox"/> ①又は②に該当し、さらに特に記載したい事がある場合 右欄に記載する。</p> | |
| <p>(3) 規格外の製品の流通を防止するための体制等</p> | <p>以下のいずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> (2) ①の認証等に従い実施している。 <input type="checkbox"/> (2) ②の基準に従い実施している。 <input type="checkbox"/> それ以外（取組状況について下記に記載する。）</p> |
| <p>(4) その他特記すべき事項</p> | <p>特になし</p> |

別紙様式（Ⅱ）

商品名：メディボーン

安全性評価シート

食経験の評価

| | | | |
|------------------------|---|--|--|
| ①喫食実績 による食経 験の評価 | 喫食実績の有無： <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし | | |
| | （「あり」の場合に実績に基づく安全性の評価を記載） ※ <input type="checkbox"/> 評価が十分→⑧へ、 <input checked="" type="checkbox"/> 喫食実績なし又は評価が不十分→②へ | | |
| 既存情報を用いた評価 | ② 2次情報 | 公的機関のデータベースの情報 | <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| | | （なしの場合） 民間や研究者等が調査・作成したデータベースの情報 | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| | | ※「なし」の場合→③へ （データベースに情報が「あり」の場合：食経験に関する安全性の評価の詳細を記載すること） 食品安全委員会の「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の安全性評価の基本的な考え方（2006年5月）」の中で、大豆食品について、「日本においては、これまで、大豆イソフラボンを含む多種多様な大豆食品が日常的に摂取され、日本人は一般的な大豆食品の食経験を有している。」こと、及び「日本人が長年に渡り摂取している大豆食品の大豆イソフラボンの摂取量により、明らかな健康被害は報告されていない。」ことが記載されている。一方で、大豆イソフラボンについては、「大豆イソフラボンのみを濃縮、あるいは強化した食品、すなわち、大豆のイソフラボンとそれ以外の成分（たん白質、カルシウム等）とのバランスが異なる食品の食経験は存在しない。」ことが記載されている。 以上より、大豆食品としての食経験情報はあるものの、機能性関与成分である大豆イソフラボン、及び本品での食経験情報はなことから、評価は不十分と判断した。 ※ <input type="checkbox"/> 評価が十分→⑧へ、 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が不十分→③へ | |

別紙様式（Ⅱ）

| | | |
|--|---------------|--|
| | | (データベース名) ・ 食品安全委員会ホームページ |
| | ③ 1次情報 | 1次情報の有無： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ※「なし」の場合→④へ |
| | | (1次情報が「あり」の場合：食経験に関する安全性の評価の詳細を記載すること) Wakai Kらは、食事記録により日本人のイソフラボン（ダイゼイン及びゲニステイン）の日常摂取量及び摂取源を調査した。ダイゼインとゲニステインの日常摂取量（中央値）は、男女 1232 名を対象とした 1 日の調査では、ダイゼイン 12.1 mg/日、ゲニステイン 19.6 mg/日であり、男女 88 名を対象とした 16 日の調査（4 日×4 回）では、ダイゼイン 9.5 mg/日、ゲニステイン 14.9 mg/日であることを報告している。また、イソフラボンの摂取源は豆腐、味噌、納豆、油揚げの 4 品で全体の約 90 %を占めていたことを報告している ¹⁾ 。 しかしながら、本文献情報は大豆食品としての食経験であり、大豆イソフラボン及び本品での食経験評価とはならないため、評価は不十分と判断した。 ※ <input type="checkbox"/> 評価が十分→⑧へ、 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が不十分→④へ |
| | | (参考文献一覧) 1. Wakai K. <i>et al.</i> , Dietary intake and sources of isoflavones among Japanese, <i>Nutr Cancer.</i> , 33, 139-145, 1999. |
| | (その他) 特になし | |

安全性試験に関する評価

| | | | |
|-----------------|--------|-------------------------------------|--|
| 既存情報による安全性試験の評価 | ④ 2次情報 | 公的機関のデータベースの情報 | <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| | | (なしの場合) 民間や研究者等が調査・作成したデータベースの情報 | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |

| | | | |
|---|--|---|-------------|
| | | 報 | ※「なし」の場合→⑤へ |
| (データベースに情報が「あり」の場合：安全性に関する評価の詳細を記載すること) | | | |
| 以下、機能性関与成分である大豆イソフラボンの安全性について評価した。 | | | |
| <p>食品安全委員会の「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の安全性評価の基本的な考え方（2006年5月）」の中で、大豆イソフラボンの安全性を評価した結果、特定保健用食品として大豆イソフラボンの安全な一日上乗せ摂取量の上限値は大豆イソフラボンアグリコンとして30 mg/日とされている。</p> | | | |
| <p>本品も特定保健用食品と同様に日常の食事に上乗せして摂取するものであることから、同じ基準（アグリコンとして30 mg/日）が適用できると考えられる。本品の1日摂取目安量あたりに含まれる大豆イソフラボン量（アグリコンとして）は25 mg/日であり、アグリコンとして30 mg/日を超えていないことから、本品に含まれる大豆イソフラボンの安全性に問題はないと判断した。</p> | | | |
| <p>なお、「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の安全性評価の基本的な考え方」を参照すると、大豆イソフラボンの上乗せ摂取量が一時的に30 mg/日（アグリコンとして）を超えたとしても健康被害に結びつくものではないことが分かるが、「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品等の取扱いに関する指針について（平成18年8月23日付食安発第0823001号）」を踏まえ、イソフラボンを含有するその他の特定保健用食品等との併用摂取、又は本品の過剰摂取により、大豆イソフラボンの安全な1日上乗せ摂取量の上限値（アグリコンとして30 mg/日）を恒常的に超えることがないよう、本品の摂取上の注意として、「1日の摂取目安量をお守りください。イソフラボンを含む特定保健用食品等の併用は避け、過剰に摂りすぎないように注意してください。」と表示した。</p> | | | |
| 【機能性関与成分の評価結果が本品に適用できる理 | | | |

別紙様式（Ⅱ）

| | | |
|----------------------|--|---|
| | | <p>由】 本品は一般的なケールを含有する青汁であり、機能性関与成分以外の原材料は、販売実績が十分な原材料から構成される食品である。したがって、本品の機能性関与成分以外の原材料において安全性に懸念はなく、機能性関与成分の安全性評価結果を本品に適用できると考えられる。</p> <p style="text-align: right;">※<input checked="" type="checkbox"/>評価が十分→⑧へ、<input type="checkbox"/>評価が不十分→⑤へ</p> <p>(データベース名)</p> <p>・食品安全委員会ホームページ</p> |
| | <p>⑤ 1次情報 （各項目は「あり」の場合に詳細を記載）</p> | <p>1次情報の有無：<input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし ※「なし」の場合→⑥へ</p> <p>(調査時期)</p> <p>(検索条件)</p> <p>(検索した件数)</p> <p>(最終的に評価に用いた件数と除外理由)</p> <p>(安全性の評価)</p> <p style="text-align: right;">※<input type="checkbox"/>評価が十分→⑧へ、<input type="checkbox"/>評価が不十分→⑥へ</p> <p>(参考文献一覧)</p> <p>1. 2. 3.</p> <p>(その他)</p> |
| <p>安全性試験の実施による評価</p> | <p>⑥ <i>in vitro</i> 試験 及び <i>in vivo</i> 試験</p> | |

別紙様式（Ⅱ）

| | | |
|---------------------|-------|--|
| ※安全性が評価された場合 →⑧へ | ⑦臨床試験 | |
|---------------------|-------|--|

（安全性試験を実施した場合、当該試験の報告資料を添付すること。ただし、文献として公表されている場合には参考文献名を記載すれば、添付する必要はない。）

別紙様式（Ⅱ）

機能性関与成分の相互作用に関する評価

| | |
|---|---|
| <p>⑧ 医薬品との相互作用に関する評価</p> | <p>(参考にしたデータベース名又は出典) 1. 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 「健康食品」の安全性・有効性情報</p> |
| <p>相互作用の有無： <input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p> | |
| <p>(「あり」の場合：機能性表示食品を販売することの適切性を詳細に記載すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラットにおいて、大豆抽出物（イソフラボン 37 %含有）の 3 日又は 10 日間の経口投与により、肝臓の CYP1A2、CYP2C6 及び CYP3A2 の遺伝子発現には影響しなかったが、CYP1A1 及び CYP2D1 の発現誘導、CYP3A1、CYP2D2 及び CYP2E1 の発現抑制が認められたという報告がある。 ・ラットにおいて、豆乳又は味噌の経口投与は、シクロスポリンの血中濃度（Cmax、AUC）を低下させたことから、CYP3A4 と P 糖タンパク質活性を誘導したという報告がある。 ・ラットにおいて、大豆抽出物（150 mg/kg 又は 500 mg/kg）を 1 日 2 回、5 日間経口投与させたところ、パルプロ酸の血中濃度（Cmax、AUC）が低下し、t1/2 が増加したという報告がある。 ・ラットにおいて、ダイズ抽出物の摂取による薬物代謝関連の遺伝子発現を調べたところ、肝臓の CYP 及び肝臓と小腸のトランスポーターに影響が認められたという報告がある。 ・<i>In vitro</i> 試験（ヒト CYP タンパク）において、ダイズのメタノール抽出物は CYP3A5 活性を、水抽出物は CYP3A4 活性を阻害したという報告がある。 <p>以上の報告より、大豆抽出物又は大豆食品は、薬物代謝に影響を及ぼす可能性があることが考えられた。</p> <p>【本品を販売することの適切性について】</p> <p>大豆抽出物又は大豆食品には、上記に示した医薬品との相互作用が報告されているが、大豆イソフラボンに関与成分とし、かつ本品と同等量のイソフラボン量を含む特定保健用食品（2001 年に最初の許可取得）が既に広く販売されている。</p> <p>但し、前述のとおり、大豆抽出物又は大豆食品は薬物代謝に影響を及ぼす可能性があり、本品の摂取においても同様の影響を及ぼす可能性は否定できない。医薬品の常用服用者は本品の想定している対象者ではないものの、本品を利用する可能性はあり、また健常者であっても医薬品を服用することがある。そのため、本品の摂取上の</p> | |

別紙様式（Ⅱ）

| | |
|--|---|
| | <p>注意として、医薬品を服用している方は医師に相談するよう表示した。</p> <p>以上のように注意喚起することで、本品利用者に対して摂取上の注意を促し、本品摂取により想定される健康被害を防止できると考えられる。</p> |
| <p>⑨ 機能性関与成分同士の相互作用 （複数の機能性関与成分について機能性を表示する食品のみ記載）</p> | <p>（参考にしたデータベース名又は出典）</p> <p>1.</p> <p>2.</p> <p>3.</p> <hr/> <p>相互作用の有無： <input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p> <hr/> <p>（「あり」の場合：機能性表示食品を販売することの適切性を詳細に記載すること）</p> |

別紙様式（Ⅲ） - 1

商品名：メディボーン

製造及び品質の管理に関する情報
 (サプリメント形状の加工食品、その他加工食品)

| | | |
|---|---|--|
| (1) 製造者氏名、製造所所在地等 情報 | 製造者氏名又は製造所名 | 株式会社東洋新薬 鳥栖工場 |
| | 製造所所在地 | 佐賀県鳥栖市弥生が丘 7-28 |
| | 届出者か否か | <input checked="" type="checkbox"/> 届出者 <input type="checkbox"/> 届出者以外 |
| | 製造所固有記号で表示される場合はその記号 | T11 |
| (2) 製造施設・従業員の衛生管理等の体制（以下の項目をチェック又は記載。重複可） | | |
| ① GMP、HACCP、ISO 22000、FSSC 22000 に基づき、届出食品が製造されているか。 <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | 種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 国内GMP <input checked="" type="checkbox"/> 米国GMP （ <input checked="" type="checkbox"/> 認証を受けている） <input type="checkbox"/> 総合衛生管理製造過程 <input type="checkbox"/> 都道府県等 HACCP <input checked="" type="checkbox"/> ISO 22000 <input type="checkbox"/> FSSC 22000 |
| | 承認書等発行者 | ・国内 GMP：公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 ・米国 GMP：NSF International ・ISO 22000：ペリージョンソン ンホールディング株式会社 ペリージョンソン レジス トラー |
| | 承認書等番号 | ・国内 GMP：211-B01-01 ・米国 GMP：C0095802-06 ・ISO 22000：C2014-00481-R1 |
| ② 国外で製造される場合において、当該外国内で販売する食品 に対し、GMP 又は HACCP の基準に従い製造することを義務付けて いる場合であって、届出食品も当該基準により製造されて いるか。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> GMP <input type="checkbox"/> HACCP 国名又は地域名 | |
| ③ <input type="checkbox"/> ①及び②以外の場合 製造施設・従業員の衛生管理等の体制 について具体的に右欄に記載する。 <input type="checkbox"/> ①又は②に該当し、さらに特に | | |

別紙様式（Ⅲ） - 1

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>記載したい事がある場合 右欄に記載する。</p> | |
| <p>（3）規格外の製品の流通を防止する ための体制等</p> | <p>以下のいずれかにチェック</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/>（2）①の認証等に従い実施している。<input type="checkbox"/>（2）②の基準に従い実施している。<input type="checkbox"/>それ以外（取組状況について下記に記載する。） |
| <p>（4）その他特記すべき事項</p> | <p>特になし</p> |

商品名：メディボーン

製造及び品質の管理に関する情報
（サプリメント形状の加工食品、その他加工食品）

| | | |
|---|---|---|
| (1) 製造者氏名、製造所所在地等 情報 | 製造者氏名又は製造所名 | 株式会社松本園 |
| | 製造所所在地 | 奈良県奈良市月ヶ瀬尾山 1925 |
| | 届出者か否か | <input type="checkbox"/> 届出者 <input checked="" type="checkbox"/> 届出者以外 |
| | 製造所固有記号で表示される場合はその記号 | TM |
| (2) 製造施設・従業員の衛生管理等の体制（以下の項目をチェック又は記載。重複可） | | |
| ① GMP、HACCP、ISO 22000、FSSC 22000 に基づき、届出食品が製造されているか。 <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | 種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 国内GMP <input type="checkbox"/> 米国GMP （ <input type="checkbox"/> 認証を受けている） <input type="checkbox"/> 総合衛生管理製造過程 <input type="checkbox"/> 都道府県等 HACCP <input type="checkbox"/> ISO 22000 <input type="checkbox"/> FSSC 22000 |
| | 承認書等発行者 | 公益財団法人 日本健康・ 栄養食品協会 |
| | 承認書等番号 | 139-B02-03 |
| ② 国外で製造される場合において、当該外国内で販売する食品 に対し、GMP 又は HACCP の基準に従い製造することを義務付けて いる場合であって、届出食品も当該基準により製造されて いるか。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> GMP <input type="checkbox"/> HACCP 国名又は地域名 | |
| ③ <input type="checkbox"/> ①及び②以外の場合 製造施設・従業員の衛生管理等の体制 について具体的に右欄に記載する。 <input type="checkbox"/> ①又は②に該当し、さらに特に 記載したい事がある場合 右欄に記載する。 | | |

別紙様式（Ⅲ） - 1

| | |
|--------------------------|---|
| | |
| (3) 規格外の製品の流通を防止するための体制等 | 以下のいずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> (2) ①の認証等に従い実施している。 <input type="checkbox"/> (2) ②の基準に従い実施している。 <input type="checkbox"/> それ以外（取組状況について下記に記載する。） |
| (4) その他特記すべき事項 | 特になし |

別紙様式（Ⅲ） - 1

商品名：メディボーン

製造及び品質の管理に関する情報
 (サプリメント形状の加工食品、その他加工食品)

| | | |
|---|----------------------|--|
| (1) 製造者氏名、製造所所在地等 情報 | 製造者氏名又は製造所名 | 株式会社 DNP 包装 |
| | 製造所所在地 | 東京都北区赤羽南 2-10-25 |
| | 届出者か否か | <input type="checkbox"/> 届出者 <input checked="" type="checkbox"/> 届出者以外 |
| | 製造所固有記号で表示される場合はその記号 | DT |
| (2) 製造施設・従業員の衛生管理等の体制（以下の項目をチェック又は記載。重複可） | | |
| ① GMP、HACCP、ISO 22000、FSSC 22000 に基づき、届出食品が製造されているか。 <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | 種類 | <input type="checkbox"/> 国内GMP <input type="checkbox"/> 米国GMP （ <input type="checkbox"/> 認証を受けている） <input type="checkbox"/> 総合衛生管理製造過程 <input type="checkbox"/> 都道府県等 HACCP <input checked="" type="checkbox"/> ISO 22000 <input checked="" type="checkbox"/> FSSC 22000 |
| | 承認書等発行者 | 日本検査キューエイ株式会社 |
| | 承認書等番号 | ・ ISO 22000 : F021 ・ FSSC 22000 : R017 |
| ② 国外で製造される場合において、当該外国内で販売する食品 に対し、GMP 又は HACCP の基準に従い製造することを義務付けて いる場合であって、届出食品も当該基準により製造されて いるか。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | | <input type="checkbox"/> GMP <input type="checkbox"/> HACCP |
| | | 国名又は地域名 |
| ③ <input type="checkbox"/> ①及び②以外の場合 製造施設・従業員の衛生管理等の体制について具体的に右欄に記載する。 <input type="checkbox"/> ①又は②に該当し、さらに特に 記載したい事がある場合 右欄に記載する。 | | |

別紙様式（Ⅲ） - 1

| | |
|--------------------------|---|
| | |
| (3) 規格外の製品の流通を防止するための体制等 | 以下のいずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> (2) ①の認証等に従い実施している。 <input type="checkbox"/> (2) ②の基準に従い実施している。 <input type="checkbox"/> それ以外（取組状況について下記に記載する。） |
| (4) その他特記すべき事項 | 特になし |

商品名：メディボーン

原材料及び分析に関する情報

| | | |
|--|------------------------------|---|
| 第1 生産・製造及び品質管理の体制 | | |
| (1) 機能性関与成分を含む原材料名（届出食品が生鮮食品の場合は除く） | 大豆胚芽抽出物（イソフラボン含有） | |
| 第2 食品の分析 | | |
| (2) 機能性関与成分の定量試験 | 試験機関の名称 | 一般財団法人 日本食品分析センター |
| | 試験機関の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 登録試験機関又は登録検査機関 <input type="checkbox"/> 農業試験場等（生鮮食品に限る） <input type="checkbox"/> その他の第三者機関 <input type="checkbox"/> 届出者又は利害関係者 |
| | 分析方法を示す資料 | <input type="checkbox"/> 標準作業手順書 <input checked="" type="checkbox"/> 操作手順、測定条件等できる限り試験方法について具体的に記載した資料 |
| | 届出者又は利害関係者で分析を実施する場合、その合理的理由 | |
| (3) 安全性を担保する必要がある成分の定量試験 □あり (成分名：) <input checked="" type="checkbox"/> なし | 試験機関の名称 | |
| | 試験機関の種類 | <input type="checkbox"/> 登録試験機関又は登録検査機関 <input type="checkbox"/> 農業試験場等（生鮮食品に限る） <input type="checkbox"/> その他の第三者機関 <input type="checkbox"/> 届出者又は利害関係者 |
| | 分析方法を示す資料 | <input type="checkbox"/> 標準作業手順書 <input type="checkbox"/> 操作手順、測定条件等できる限り試験方法について具体的に記載した資料 |
| | 届出者又は利害関係者で分析を実施する場合、その合理的理由 | |
| (4) 届出後における分析の実施に関する資料（機能性関与成分及び安全性を担保する必要がある成分） | 機能性関与成分 | |
| | 分析方法、代替指標の場合はその成分名を併記 | 試験機関の名称（あらかじめ規定されている場合のみ）及び分析機関の種類 |
| | HPLC 法、ダイゼイン、グリシテイン、ゲニステイ | 株式会社東洋新薬、届出者 |

| | | | | |
|---|--|--------------|------------------------------------|-----|
| | ン及びこれらの配糖体、配糖体のアセチル化体、マロニル化体（アグリコンとして） | | | |
| | | | | |
| | 安全性を担保する必要がある成分 | | | |
| | 分析方法、代替指標の場合はその成分名を併記 | | 試験機関の名称（あらかじめ規定されている場合のみ）及び分析機関の種類 | |
| | 該当せず | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| (5) 届出後における分析の実施に関する資料（原料の基原の確認方法及び製品の崩壊性試験等を実施する必要がある場合、その方法及び頻度） <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし | 確認する項目（基原等）及び試験方法 | 試験機関の名称及び種類 | 確認の頻度 | その他 |
| | 定性的なパターン分析、HPLC法 | 株式会社東洋新薬、届出者 | 製品ロット毎 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| (6) その他特記すべき事項 | 特になし | | | |

注) 機能性関与成分が複数ある等、本様式に記載しきれない場合は、適宜記入欄を追加し、必要な事項を記載すること。